



中小企業の事業承継

(1)事業承継に向けた準備の進め方

中小企業活力向上オンラインセミナー
戦略・経営者分野

中小企業活力向上プロジェクト実行委員会事務局



～事業承継の3つの構成要素～

① 人（経営）の承継

- ・ 経営権
- ・ 後継者の選定／育成
- ・ 後継者との対話

② 資産の承継

- ・ 株式
- ・ 事業用資産 (設備・不動産等)
- ・ 資金 (運転資金・借入等)

③ 知的資産の承継

- ・ 経営理念
- ・ 従業員の技術や技能
- ・ ノウハウ
- ・ 経営者の信用
- ・ 取引先との人脈
- ・ 顧客情報
- ・ 知的財産権(特許等)
- ・ 許認可 等



～事業承継に向けた5つのステップ～

Step. 1

事業承継に向けた準備の必要性の認識

Step. 2

現状把握（見える化）

Step. 3

経営改善（磨き上げ）

【親族内・従業員承継】

【社外への引継ぎ】

Step. 4

事業承継計画の策定

M & A等のマッチング

Step. 5

事業承継の実行

M & A等の実行

事業承継実行後（成長・発展）



Step. 1

事業承継に向けた準備の必要性の認識



外部に気軽に
相談できない

手遅れとなってしまう
ケースも多い・・・

- ・ 60歳を目安に準備を開始する
- ・ 支援機関側からも働きかける
- ・ 事業承継診断を活用する



60歳を目安に早期かつ計画的に準備を始める



Step. 2

現状把握（見える化）

経営状況

業界動向・環境変化

財務・不動産所有状況

知的資産の認識

事業承継課題

後継者候補有無

親族の反対

借入金の引継ぎ・相続税



経営課題を整理して早期の対応につなげていく



Step. 3

経営改善（磨き上げ）

事業の将来や経営の安定性に不安があると・・・

後継者の承継意欲低下

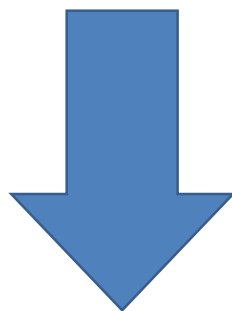
M&A等での売却価値低下

業績改善

経費削減

本業の競争力強化

組織体制の見直し



後を継ぎたくなるような経営状態まで磨き上げる





Step. 4(a)

事業承継計画の策定【親族内・従業員承継】

中長期目標の設定

現状分析・環境変化



事業の方向性の検討



具体的な目標の設定



事業承継計画の策定

資産・経営の承継の時期

資金調達

専門家への相談

事業承継に向けた課題の整理



後継者と共同で策定し経営理念を共有する



Step. 4 (b)

M & A 等のマッチング【社外への引継ぎ】

M & A 仲介機関の選定

取引金融機関

M & A 専門業者

事業引継ぎ支援センター

売却条件の検討

会社全体を売却

一部の事業だけ残す

従業員の雇用維持



信頼できる仲介機関を探し出し、
条件に見合った相手先を見つけ出す



Step. 5

事業承継（またはM&A等）の実行

事業承継計画やM & A手続きに沿って実行



状況の変化等を踏まえて
随時事業承継計画を修正・ブラッシュアップ



**弁護士、税理士、公認会計士等の
専門家の協力を仰ぐ**



事業承継実行後（成長・発展）

事業承継を契機とした新たな取組

後継者が新たな視点で
事業の見直し

統合先の会社の事業との
シナジー

事業の再編

成長ステージ